

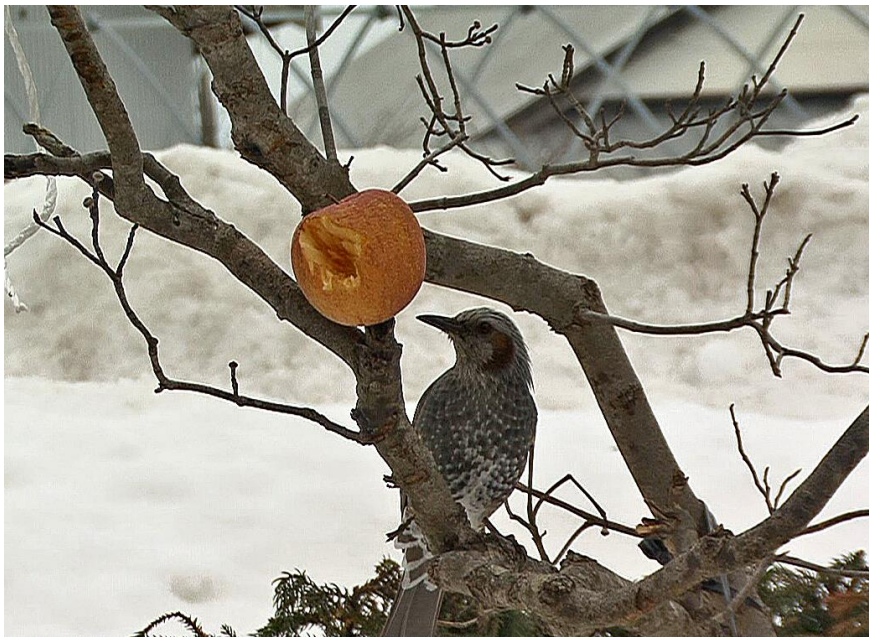
ヒヨドリ（ヒヨドリ科） 全長28センチ

冬に入ると地面は雪に閉ざされ、野鳥にとっては厳しい餌不足の季節となった。

冬期間だけスズメの餌台を設置して来たが、他の野鳥も飛来するようだ。我さきにとやってきたのはカラスである。

体の大きいカラスは先に食べていたスズメ共を追い払い、独り占めです。これではスズメに申し訳ないと、餌台にカラス除けの工夫をしたら寄り付かなくなった。

次に現れたのはヒヨドリです。スズメと一緒に仲良く食べていけばいいのだが、鋭いクチバシで蹴散らしていた。



枝先にリンゴを刺しておいたら、おいしそうに食べていた。

入口の狭い餌台はカラス対策にはなったが、ヒヨドリにはあまり効果がないようだ。

スズメのように中に入ることは無く、首を伸ばしながら窮屈な姿勢である。スズメ達はヒヨドリに追い払われながらも、何とか隙を見て餌台に集まって来た。



餌台の入り口は狭いので、この位置から首を伸ばして食べていた。



右のヒヨドリはかなり窮屈な姿勢である。食べにくそう。

こうしたスズメとヒヨドリの攻防は続いている。

しかし、圧倒的に数の多いスズメに負けてしまったのか、ヒヨドリが現れる回数は日に日に少なくなっています。



隙を見て、反対側から群がります。



お腹いっぱいになったのか、ゆっくりと休憩中。